

4. 事業の概況（令和7年度）

①事業別業況

◇農業関連事業

【購買事業】

当期の生産購買品供給高は、肥料・農薬について水稻肥料・農薬の銘柄集約、並びに超大型規格農薬の積極的な提案等、生産コスト低減に向けた取り組みに努めた結果、117億51百万円となりました。

【販売事業】

当期の販売品販売・取扱高は、米の集荷後価格決定方式を令和7年産米も継続実施し、また畜産の購買者誘致、園芸重点推進6品目の拡大を継続的に取り組んだ結果、417億7百万円となりました。

◇生活関連事業

当期の生活購買品供給高は、地産地消を基本に「安全・安心・新鮮」にこだわったJAらしい店舗運営や、自動車・ガス・石油事業では「安心・安全・快適」を提供するための販促企画を展開した結果、178億25百万円となりました。

◇信用事業

地域金融機関として、農畜産物応援を主体とした定期貯金キャンペーンや、担い手農業者や子育て世代を支援する金融サービスを積極的に展開した結果、貯金が期末残高9,867億13百万円、貸出金が期末残高2,919億57百万円となりました。

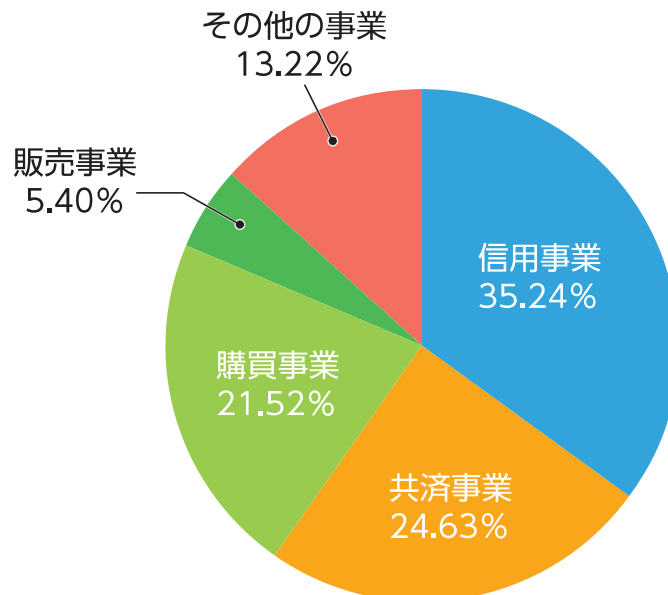
◇共済事業

ライフアドバイザー（LA）を中心とした3Q活動を起点とした情報提供活動、支店共済担当者（スマイルサポーター）による迅速・丁寧な窓口対応、次世代層への出産育児を応援する「JAしまね こども倶楽部」の普及拡大に取り組みました。

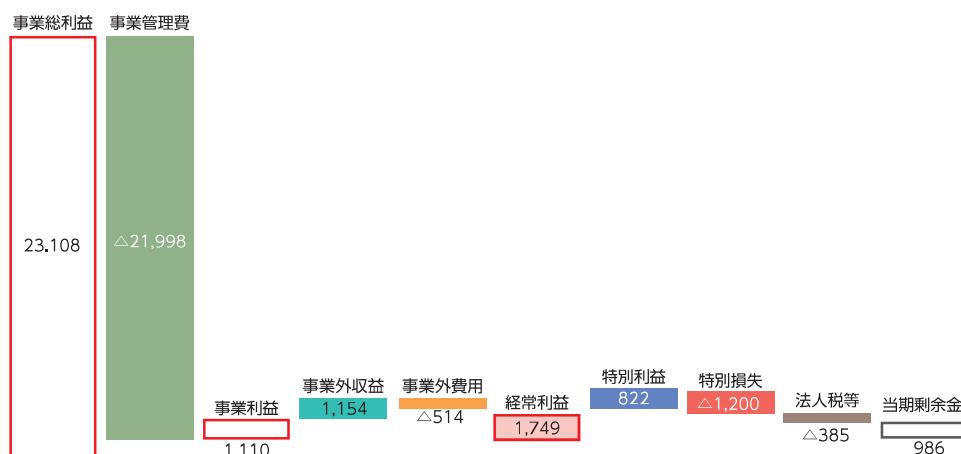
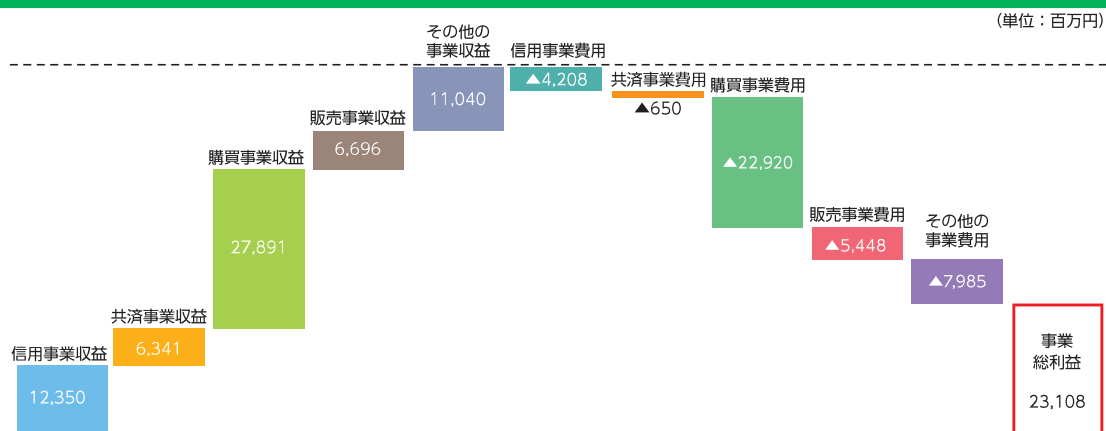
②損益の状況

損益は、事業総利益が231億8百万円、経常利益が17億49百万円となり、当期剰余金が9億86百万円となりました。

事業総利益に占める各事業の割合



事業総利益の構成



5. 農業振興活動

1. 「農業戦略実践3カ年営農計画」の実現に向けた取り組み

「農業者の所得増大」「農業生産の拡大」「地域の活性化」の実現に向けて策定した、「第4次農業戦略実践3カ年営農計画」の初年度として、島根県農業及びＪＡしまねが直面する課題への対策に取り組みました。

担い手支援の取り組みとして、島根県集落営農・法人ネットワーク等と連携し、集落営農組織への情報提供や研修会等を開催しました。

また、環境調和型農業（有機農業）の普及・実践に取り組みました。その一環として、営農経済本店敷地内（出雲市斐川町）において、令和6年6月に建設した有機多目的倉庫に続き、令和8年3月には米の生産・集荷・販売強化策の一つとして、東中部米集約倉庫（収容能力：5,025 t）を建設しました。

2. 「島根米生産集荷販売方針」の策定

ＪＡしまね「島根米生産集荷販売方針」を決定し、売れるコメ作りへの対応として「販売を起点としたものづくり」の実現に向けて、実需者及び卸売業者から要望の強い「きぬむすめ」「つや姫」への品種誘導、結びつき米の拡大等を行うことで、今後の水田営農の経営安定化を図ることとしました。

3. 担い手支援の取り組み

本店が担う「県域担い手サポートセンター」や「島根県農業経営・就農支援センター」での機能発揮や、ＪＡグループ・島根県農業再生協議会等の関係機関と連携し、担い手農業者（組織）の課題解決や農業所得の向上に向けた取り組みを行いました。

4. 生産コスト低減に向けた取り組み

生産資材事業は、肥料・農薬で、ＪＡ統一銘柄（肥料8品目、農薬7品目）を選定し、品目集約による価格低減を図り組合員へ還元しました。

担い手支援としては、担い手農家、集落営農組織、農業法人等経営の大規模化に対応した担い手直送超大型規格農薬を積極的に取扱い、生産コスト低減に努めました。

5. 農業振興支援事業での持続的営農への支援

「第4次農業戦略実践3カ年営農計画」の実現に向けて、園芸重点推進6品目の拡大支援やしまね和牛増頭支援等の重点事項に対する支援、規模拡大、生産基盤の強化を図る担い手への支援、新規就農者の育成確保、担い手の健康対策に対し約1億44百万円を支援しました。

◇農業関係の地域密着型金融への取り組み

○エネルギー価格・物価高騰等対策資金

（農業資金 県制度資金）の取扱い

ロシアによるウクライナ侵略や円安など、社会情勢の変化によるエネルギー価格、飼料・肥料等物価高騰の影響により、経営の維持安定が困難となった農業者の支援として、島根県制度資金「令和7年度エネルギー価格・物価高騰等対策資金」の取扱いを令和5年度より継続して行いました。さらに当JAの独自支援策として、上記資金について当初5年間無利息となる金利支援を行いました。

○農業者の経営課題解決に向けた取り組み

（担い手コンサルティングの実施、事業承継セミナーの開催）

地域の農業を支える農業メインバンクとして、積極的に農家・組合員のもとへ出向き、農林中金と連携した「担い手コンサルティング」や「事業承継セミナー」など農業者の経営課題解決に向けて取り組みました。

○「JAバンク食農教育応援事業」の実施

小学生を対象とした食農教育を中心とする教育実践活動を通じ、子どもたちの農業に対する理解を深め、農業へのファン層を拡大するとともに、地域の発展に貢献することを目的として、県内小学校へ食農・環境保全・金融経済教育にかかる教材本を無償贈呈しました。

6. 地域貢献情報

地域からの資金調達の状況

(貯金・積金残高 令和8年3月末現在)

(単位：千円)

種 類	残 高
流 動 性 貯 金	566,388,109
定 期 性 貯 金	400,585,368
定 期 積 金	10,570,997
そ の 他 の 貯 金	2,177,003
譲 渡 性 貯 金	6,991,879
合 計	986,713,356

地域への資金供給の状況

(貸出金残高 令和8年3月末現在)

(単位：千円)

区 分	残 高
組 合 員	219,656,103
地 方 公 共 団 体	43,688,863
そ の 他	28,612,502
合 計	291,957,468

地域密着型金融への取り組み

○農畜産物消費拡大、農家所得向上の取り組み

島根県内の農畜産物を特典とした定期貯金キャンペーンを実施し、貯金推進と併せて総合事業体であるJAの強みを生かした農畜産物消費拡大、農家所得向上に取り組んでいます。

○子育て応援宣言

当JAでは「子育て応援宣言」として、「地域の活性化」「子育てしやすい環境」を目指し、住宅ローン・マイカーローン・教育ローンで子育てを頑張る皆様を全力でサポートしています。具体的には、住宅ローンでは「子育て応援サービス」としてお子様の人数に応じた金利引下げを実施し、多くの方にご利用いただいています。

また、貯金商品では18歳以下のお子様がいらっしゃる方を対象とした金利上乘せ定期積金もご用意しています。

生涯のパートナーとしてライフイベントにかかる相談機能の充実

組合員・地域の皆さまのライフイベントに関するご相談に応えるため、年金相談、相続・贈与相談を行っています。令和7年度は、年金相談を2,709件、対面による相続相談を433件対応しました。また、組合員・地域の皆さまの将来の資産形成をサポート・提案する資産運用相談も行い、投資信託の純資産残高は5,526百万円となりました。

今後も組合員・利用者の幅広いニーズにお応えするために、質の高い相談機能の充実に努めてまいります。

＜地域社会に貢献する活動＞

当ＪＡでは、以下の取り組みを通じて地域貢献・地域活性化に努めております。

- ① 交通安全意識の向上と交通事故防止を目的として、県内の学生に夜光反射材を寄贈するとともに、自転車交通安全教室を開催いたしました。
- ② 子どもたちの健やかな成長とふれあい、友情の輪を深めることを目的に、各種スポーツ大会の支援を行いました。
- ③ 地域貢献や地域活性化に取り組むグループや団体の活動を支援する事業に取り組んでいます。
- ④ ＪＡ女性部では、ＪＡしまね及び島根県青年協議会と連携し、「米一握り運動」を実施しました。島根県内のこども食堂やフードバンク事業を行う社会福祉協議会、その他地域で活動する団体や施設等へ米を寄贈し、支援を行いました。また、地域の美化を目的としたゴミ拾いウォークにも取り組んでいます。
- ⑤ 県内のこども食堂や子育て支援組織、社会福祉協議会など 83 団体へ、総額 823 万円相当のお米や農協全国商品券等を贈呈しました。なお、財源には令和 7 年 12 月末に失効したＪＡしまねの「おさいふカード」のポイントを活用しました。
- ⑥ 「令和の米騒動」とも呼ばれる米価の高騰が続くなか、県内産の新米を教育現場に提供し、児童・生徒に米作りの現状を考える機会を作ることを目的に、学校給食用の「きぬむすめ」10 トンを県に寄贈しました。さらに、県内 107 校の中学 3 年生約 6,000 人に、新たな進路で力強く羽ばたいてほしいという願いを込め、松江市の菅原天満宮でご祈祷を受け、オリジナルパッケージに詰めた「学業成就米」を寄贈しました。

＜くらしの活動関係＞

当ＪＡでは、「食農教育」の一環として、あぐりキッズスクールなどさまざまな活動を展開し、食や農の大切さを伝えています。また、職員やＪＡ青年連盟、ＪＡ女性部などが出前授業として学校等へ出向き、米づくりなどの実習を通じて、地域の食材の良さや食と農への理解を深める取り組みを行っております。

さらに、農業体験や料理教室、趣味の講座などを通じて、健康で心豊かな自立した女性の育成を目指すとともに、農業への関心やＪＡへの理解を深めていただくために、「ＪＡ女子大学」を開講しています。また、シニア大学なども開催し、幅広い年代の方々の生きがいくくりにも努めております。

また、当ＪＡとＪＡ女性部は、「ふれあい活動」や「女性部統一行動」として、支店を利用される組合員・利用者の皆さまへの「おもてなし」をテーマに、来店したくなる支店づくりを推進する「おもてなしプロジェクト」を実施しています。

さらに、組合員や担い手、ＪＡ女性部、地域住民の皆さまに対して、人間ドックや健康相談などの健康管理活動も積極的に開催し、地域の健康づくりに貢献しています。